

好評連載! まんが  
**がんばる! まるかわさん**  
 一人前の  
 スクールコーディネーターに  
 なるために!

**丸川さん(主人公)**  
 ●K区立小学校に通う小6息子と6歳娘の父親  
 ●普段は仕事が忙しく、パートで働く妻に学校や保育園のことを任せっぱなし  
 ●スクールコーディネーター1年生として、先輩の近藤さんを慕って頑張っている



**北澤さん**  
 ●都内の高校と中学校に通う男児二人の父親で□△小学校親父の会の代表  
 ●どこにでもいる会社員でありながら、子供たちの後方支援にも携わる  
 ●新しいことに首を突っ込むことが好きなので、気づけばK区おやじの会代表幹事担当



**大日方さん**  
 ●〇×小学校のスクールコーディネーターで高校生、中学生の娘の父親  
 ●未来のある小学生の後押しをできればと思いスクールコーディネーターを引き受ける  
 ●最近飼いだめた愛犬(ミニチュアダックス)との心の交流が今の夢



北澤さんの発表ももちろん素晴らしいけど...

あつあつって〇×小学校親父の会の北澤さんだ!

たしか薬学博士なんだから...

イベント当日  
 〇×小学校

校長先生に推薦された〇×小学校のスクールコーディネーターの活動をサポートするようになった僕は、活動をするようになった僕は、近藤さんと一緒にスクールコーディネーター向けの研修会に参加することになりました。

年々スキルアップのための研修会や地域ごとに情報交換を行う地区会をやっているよ。

SC研修会場

近藤さんと一緒にスクールコーディネーター向けの研修会に参加することになりました。

スクールコーディネーターは、学校と地域の橋渡し役として活動しています。

そんな大役が僕に?

子どもたちの学びを豊かにする存在としての活躍が期待されています。

私の担当する〇×小学校では来週「がん教育プログラム」を行う予定です。クイズをお交えて、楽しんでもらいたいと思います。

これからの活動の参考にさせていただきます!

〇×小SC 大日方さん

研修会では他校の活動事例も紹介されます。

イベント終了後

このイベントは開催された成功! スクールコーディネーター同士のつながりの大切さを知る良い機会になりました。

イベントの裏面、北澤さんのボランティアさんが活躍しているんだね。色々な地域の人やボランティアの方と学校が一緒になって子どもたちの教育を支えているのか。

このイベントは開催された成功! スクールコーディネーター同士のつながりの大切さを知る良い機会になりました。

このイベントは開催された成功! スクールコーディネーター同士のつながりの大切さを知る良い機会になりました。

このイベントは開催された成功! スクールコーディネーター同士のつながりの大切さを知る良い機会になりました。



**編集後記**

今回マンガで「スクールコーディネーター研修会」を取り上げました。人が集まると新たな広がりが始まります。集まる機会を通じて、スクールコーディネーターの活動の幅が広がれば良いという想いで、この広報紙を作りました。関わられた全ての皆さまに感謝申し上げます。おかげさまで、無事に完成しました!! ありがとうございます。



# エール

第9号 March 2026

北区スクールコーディネーター通信  
 広がる・つながる  
 ボランティアの「わ」

## 学校にある棚田でコメ作り!! スクールコーディネーターの支援で実施されています。



浮間小学校



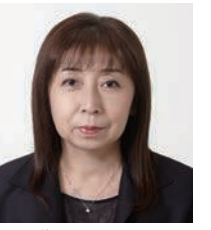
- 01 特集 他校にも広がるコーディネーターの活動の輪
- 02 特集 新しい教育長に突撃インタビュー!!
- 03 特集 マンガでスクールコーディネーターを紹介! がんばる! まるかわさん 続編



## 子どもたちの幸せをかなえるために

北区スクールコーディネーター連絡協議会には、区内44校の小中学校・義務教育学校に北区教育委員会から委嘱を受けた106名のスクールコーディネーターが在籍しており、学校での様々な学びのサポートをしております。日頃より、地域のボランティアの皆さまにはたくさんのご支援、ご協力をいただき感謝申し上げます。今年度は、ともに文部科学省CSマイスターでいらっしゃる、福田晴一教育長、井上尚子氏をそれぞれ講師にお迎えして、地域学校協働活動、コミュニティ・スクール、学校と地域をつなぐコーディネーター活動の推進をテーマに、研修会を開催いたしました。この研修会を通し、子どもたちが地域や家庭で共に学びあう環境の整備、安心・安全を守り、多様な教育ニーズへの対応な

どを担うことの必要性を知ることができました。各校でのコーディネーター活動のヒントになることを期待します。また、私たちコーディネーターが橋渡しとなり、地域のボランティアの方々の知識や経験を子どもたちにつなぎ、それぞれの役割から共に学び合える環境が子どもたちの幸せをかなえることになり、さらなる地域力の向上につながるのではないかと思います。この広報紙「エール」は、私たちの活動をご紹介しますものです。皆様方には、学校教育における地域の協力、支援、協働の大切さをご理解いただきたいと思います。私たちは、保護者、地域の皆さまと共に、子どもたちへさまざまな学びをお届けしていきます。今後ともご協力賜りますようどうぞよろしくお願い申し上げます。



北区スクールコーディネーター連絡協議会 代表 土屋 裕子



# つながるひろがる

講師とスクールコーディネーターの

## 授業支援活動の紹介

### 稲作体験 浮間小学校



子どもたちのために学校にふるさととなる里山を作ろうと、専門家の指導のもと全学級で話し合い、代表の実行委員が何度も集まり計画を作りました。棚田の造成は全校作業とし、兄弟学年で行いました。おやじの会や保護者の協力は大きな力でした。(平成22年に完成)

### 講師紹介 磯貝さん

浮間小学校元教員。現在はボランティアとして週に1~2回、来校。稲作指導の他、棚田の田おこしや草刈り、野鳥対策までを行うとともに学年園や桜草園の維持管理と児童への指導を行っている。



収穫したお米は給食で食べたり、残ったワラは乾燥させて「しめ縄」作りに役立てたりしています！！



収穫した稲は乾燥させた後に脱穀を行います。「もみ」が取れます。みなさんが食べる「お米」はこの「もみ」をもみすりして「玄米」に。玄米の表面を削る精米作業で「白米」に。そして「稲わら」が残ります。

子どもたちと水田づくりから始め、みんなで田植えを行いました。稲が育つまで稲の成長を交代で見守りました。おかげでたくさんの稲穂が実りました。

### スクールコーディネーター 稲船さん・神谷さん

磯貝さんをはじめ、ボランティアの方々のご尽力のおかげで、浮間小の稲作活動は続けられています。4年生がお米作りの大変さ、ありがたさを学べることはもちろん、春にはオタマジャクシのいる水田を眺め、夏には青稲の傍でカエルの鳴き声を聞き、秋には黄金色の稲穂に触れる。そんな自然豊かな環境で過ごす浮間小児童の「当たり前」が続いていることに、感動と感謝の気持ちでいっぱいです。

# ボランティアの輪

しめ縄作りは多くの小学校で実施されている人気の授業です！



### 講師紹介 東條英利さん

一般社団法人国際教養振興協会代表理事。しめ縄プロジェクトを全国各地の神社や小学校のほか、海外でも展開。王子小学校、王子桜中学校保護者



お正月講座&しめ縄作りワークショップでは、なぜお正月にしめ縄を飾るのかなど日本の文化について学んだ後に、自分の手でしめ縄を作ります。5年生が稲を育てている学校では、自分たちが作った稲も混ぜてしめ縄にしました。

令和7年度開催校  
王子小、王子第一小、王子第二小、王子第三小、豊川小、堀船小、柳田小、赤羽小、梅木小、八幡小

## 教育長インタビュー



令和6年12月より、北区の新しい教育長に福田晴一氏が着任されました。文部科学省CSマイスターでもある福田教育長に、北区の地域学校協働活動について、お話しいただきました。

### 北区の印象を教えてください

まず印象的なのが、教育資源が豊富なことですね。歴史的にも、田端文士村や渋沢栄一翁の存在。文化的にも、稲付の餅搗歌やせんべろのまち赤羽がある。さらにHPSCなどのスポーツ施設まで。とても恵まれた環境です。さらに、皆さん情に厚い、上品な下町。青少年委員会、地区委員会が基盤になり、地域が盛り上がっているな、というのが一番の印象です。

### 文部科学省CSマイスターってなんですか？

正式には、「コミュニティ・スクール推進に関する専門的助言者」です。文部科学省から委任を受けていて、全国で35人。東京は4人。今年も、自治体や文科省から要請を受けて、古河市、東村山市、日光市、名古屋市、相模原市に関わっています。現場に行き、コミュニティ・スクール導入のためのロードマップと一緒に考え、講演会や校長会を通して、指導助言を行っています。

### 北区のスクールコーディネーターの活動をご覧になって、いかがですか？

全国的にもスタートが早かったこともあり、歴史に裏打ちされていることを感じています。多種多様、多彩な意義ある活動を展開していただき、子どもたちに、授業では学べない豊かな学びが展開されていることに感謝しています。同時に、ご自身も活動を楽しんでいる方が多いように感じていて、生涯を通じた学び=ウェルビーイングに繋がるものがあると思っています。

### 学校地域連携課より

まなび  
ステップアップ  
フェスタ

令和7年  
12月13日(土)に  
参加！！

北区教育委員会主催で開催したイベントにSCのブースを出展していただきました。このイベントは、ライフプランを考える機会の提供、ボランティア参加へのきっかけづくり、機関・団体・ボランティア活動の交流を目指しています。当日は、SCの活動を紹介するパネル展示のほか、しめ縄作り、書道の実演を行い、参加された方々に、SCの活動について知っていただく良い機会になりました。



### 北区教育長

はるかす  
福田晴一さん



- ・1978年 東京都立小学校教諭
- ・1999年 杉並区立清美養護学校 教頭
- ・2002年 アメリカ・フィラデルフィア 補助授業校長
- ・2007年 杉並区立和田小学校長
- ・2025年 北区教育長

これから、北区のスクールコーディネーターに求められるものはなんでしょうか？

国は多様化する学校の教育問題に対応するため、コミュニティ・スクールを推進しています。北区は、豊富な教育資源と厚い人情を強みに、スクールコーディネーターの活動をコミュニティ・スクールにうまく連携していく、両者を一体的に推進していくことが、これからの目指すところだと思っています。連携していくことができれば、北区はダイナミックな学校教育、社会教育が展開できます。自分もプレイヤー型教育長として頑張ります。

### スクールコーディネーターに向けたエールをお願いします

本当に感謝しないのですが、無理せず、色々な人たちとの繋がりを充実させ、大いに楽しんでほしいです。結果的には、学校づくりはまちづくりであり、人づくり。皆さんの活動が、良い学校をつくり、未来のまちをつくり、そこを支える人たちをつくるのだらうと思っています。これからも応援しています。

## 特集

### 他校にも広がる活動の輪

#### 小学校で実現 がん教育授業



「がん」と聞くと怖い病気のイメージをしてしまうけれど、2人のSCのチカラで楽しい特別授業を作り上げました。今回マンガでも簡単に紹介していますが実際はどのように進んで行ったのでしょうか？



先日、王子第二小学校では「がん」をテーマにした授業をしたのですよ。



いいですね！「がん」って聞くと、なんとなく怖いイメージがありますが実際には治療法など増えていますよね。



そうですね。がんを適切に予防すること、仮にがんになったとしても早期発見すること、がんのことをよく知ることで、がんは不治の病ではなくなりつつあるんですよ



確かに！さっそく私の担当の王子第一小学校でも「がん教育」を提案してみます。私たち2人で児童・保護者を対象に「健康」のテーマも盛り込んで授業をやってみませんか？



よいですね！2人で実施となるとトークの様な形にして、面白い授業にしてみませんか？

実はお二人の職業はそれぞれ医療関係の専門家。そこで正しい知識と経験を分かりやすく児童に伝える内容の授業を特別に作って実施したら大盛況！私の小学校でも！うちでも！とウワサは広がり、実施校が増えていきます！

(令和7年度実施校 王子第一小・王子第二小・としま若葉小)

#### 中学校で実現 認知症サポーター授業



桐ヶ丘中学校では体育館にて、中学3年生を対象に桐ヶ丘地区の地域包括支援センターやまぶき荘の職員の方や在宅サービス業者の方にご協力をいただき「認知症サポーター講座&車椅子体験」の特別授業を開催しました。

講座ではSCによる小芝居も披露し「道に迷った認知症高齢者にはどのような声をかけるべきか？」をテーマに先生や生徒に参加して貰い、良かった点や注意点などを職員の方からお話をいただきました。地域には複数の介護サービスがあり、高齢者にどう寄り添えば良いのかなど、認知症という中学生にとって馴染みがない病気に関しても深く知ることができ、病気と向き合うことの大切さをいつもとは違う場所での授業を通じて理解できました。実施校：桐ヶ丘中学校・浮間中学校・滝野川小学校・谷端小学校

